

ドイツ人から見た日本経済の歩みと現状

世界第3位規模の日本経済は、高齢化と人口減少、気候変動、デジタル・トランスフォーメーションという厳しい課題に直面しています。世界第4位の経済大国であるドイツも、よく似た状況にあります。しかし、そこには重要な違いもあります。本講演では、移民、地域集中、生産性という3つの重要な違いに触れながら、その背景と意味を探ります。



ドイツ日本研究所 所長

フランツ・ヴァルデンベルガー氏

Dr. Franz Waldenberger

日時

2023年6月6日(火)
18:30~20:00

対象

アドバザリパートナー企業会員
スタート企業会員

申込締切

5月29日(月)

会場

上智大学 四谷キャンパス
6号館 6-101

《ご経歴》

2014年10月より東京のドイツ日本研究所 (DIJ) の所長 (DIJの任期中は、日本経済学の教授を務めるミュンヘン大学は休職)。

ケルン大学助手 (1986-89年)、ドイツ独占禁止委員会研究員 (1989-92年) を経て、東京のドイツ日本研究所で日本経済の研究に従事する (1992-1997年)。1997年、ミュンヘン大学日本センター教授に就任。東京大学 (2001/2002)、大阪市立大学 (2002)、一橋大学 (2006)、筑波大学 (2008、2009、2010~2012) に客員教授として招聘。日本経済に関する著書や編集、多数の論文がある。

《お問い合わせ先》

上智大学プロフェッショナル・スタディーズ事務局 川瀬・岡田
TEL: 03-3238-3552 E-mail: prostudies-co@sophia.ac.jp